

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	文化人権推進課担当課長 高橋 謙司	
経企-23 川喜多映画記念館等管理運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	文化人権推進課
総合計画上の位置付け		分野	文化	施策の方針
				文化活動の支援・推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	映画や映像文化の発信拠点である川喜多映画記念館及び旧川喜多邸の別邸であった旧和辻邸の適正な管理運営を図るため。
効果	訪れた市民などが、川喜多夫妻の功績にふれながら、映画の資料や鎌倉の風情を楽しむことにより文化意識の醸成を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による川喜多映画記念館の効率的な管理運営を実施するとともに、施設の維持管理を行った。 旧和辻邸の適切な維持管理を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	23,675人		27,125人		事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	37,138	36,591		当初予算(千円)	37,695		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他	4	4		その他	4		
	一般財源	37,134	36,587		一般財源	37,691		
	人員配置数	0.8	0.7		人員配置数	0.7		
事業経費運営	人件費(千円)	6,071	5,318		人件費(千円)	5,436		
	総事業費(千円)	43,209	41,909		総事業費(千円)	43,131		
	市民1人当りの経費(円)	243	236		市民1人当りの経費(円)	244		
	対象者1人当りの経費(円)	1,825	1,545		対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 市民団体（不特定）
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 平成27年度から指定管理業務に旧和辻邸及び庭園の管理業務を新たに加えた。平成27年度から平成31年度までの第2期指定管理期間中においては、これを継続し、効率的な管理運営を行っていく。平成28年度については、旧和辻邸の形状修復のための修繕を実施するため、予算規模を拡大した。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	事業費については委託料削減の可能性があるため、「削減余地」を「ある」とした。川喜多映画記念館は全国的に見ても数少ない映画文化の発信拠点である。また、景観重要建造物に指定されている旧和辻邸は施設公開を行っている魅力ある施設である。平成24年度以降の来館者数は増加傾向にあり、平成27年度は過去最高来館者数を記録しており、事業は妥当であり、事業の成果は概ね出ているとした。平成27年度から平成31年度までの第2期指定管理期間においては、市民等が企画段階から参加する事業を各年度1回以上実施することとし、市民団体等との協働に努めている。市民参加方法等の協議、検討を行い、市民参加型事業の充実を図っていく。引き続き、映画文化発信拠点として更なる事業の充実を図り、より多くの市民の方に利用してもらえるよう努めていく。	

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	・指定管理業務に旧和辻邸及び同庭園の管理が加わり、指定管理者も新たなグループとなったことから、指定管理者と密に連携することで、展示、上映事業の他、市民参加型事業等の充実を図っていく。
課題解決のために行った平成27年度の取組	・指定管理者との定例会の開催回数を増やすなど密に協議を行い、意思疎通を図った。 ・市民参加型事業として、指定管理者と市民団体が企画段階から参加する事業を2事業実施した。
未解決の課題、新たな課題とその理由	・指定管理者と連携し、市民参加型事業における市民参加の方法や事業内容の見直しを行うなど、参加者及び来館者が高い満足度を得られるよう、事業の更なる充実が求められる。

- 解決
 一部解決
 未解決

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	来館者数(年度)	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
より多くの市民等に施設を利用してもらうため。	目標値	24,050.0	25,000.0	25,000.0	25,000.0	25,000.0	25,000.0
	実績値	23,675.0	27,125.0				
	達成率	98.4%	108.5%				
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成22年度に開館し、平成26年度までは毎年度来館者数の増加を求めため、それぞれの年度で異なる目標観覧者数を設定したが、平成27年度からは他の文化施設と同様に目標来館数を一定にし、毎年度目標値以上の来館者数を目指すこととする。						

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---